

箕面YEGは、「箕面YEGプログレス」に従い、率先して各団体や企業と連携して、行政を巻き込みながら協働で、**箕面YEGの目的を着実に推進し、地域の活性化を実現すること**が必要です。

まずは、これらの目的を実現するためにはPDCAサイクルの確立が重要となります。そして、私たちが地域を理解するために、例会や各種事業を通じてメンバーから出された地域の課題に対して各委員会が検討し、検討結果を踏まえて、オープン委員会の開催や定例会での議案として取り上げたうえで、意見集約を行い、内容によっては、箕面市役所や近隣諸団体と協議し事業の構築を行います(Plan)。また、このような経緯を踏まえて策定した「箕面YEGプログレス」を迅速かつ効率的に推進していくために、個々のメンバーのスキルアップによる活躍はもちろんのこと、市民の方々や関係諸団体の方々及び民間事業者の方々のご理解・ご協力が重要となります(Do)。また、実施した事業の効果を客観的に検証するために、具体的な取組内容ごとに設定した評価指標の達成度等を軸として、数値化することを目指せる形で検証を行います(Check)。さらに、より効果が出るように「箕面YEGプログレス」を更新し、次年度の運営に反映します(Action)。

私たちは、「箕面YEGプログレス」を活用し**箕面YEGの目的であるメンバースキル、特に人間力向上、企業の発展、地域経済活性化に寄与すること**により、次世代の確かな商工業発展の礎を築きます。



箕面YEGがこれから目指すビジョン 箕面YEGプログレス

平成28年度

— 目 次 —

- | | |
|--------------|------------|
| 2 ……宣言・綱領・指針 | 5 ……青年部の状況 |
| 3 ……～心震わせる絆～ | 6、7 ……ビジョン |
| 4 ……箕面市の未来 | 8 ……未来へ |

YEG宣言

私はYEGとして、夢に挑む。
私たちはYEGとして、地域を愛し、日本(にっぽん)を愛する。
すべてのYEGは、連帯の証となる。

綱 領

商工会議所青年部は
地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い
次代への先導者としての責任を自覚し
地域の経済的発展の支えとなり
新しい文化的創造をもって
豊かで住みよい郷土づくりに貢献する

指 針

われわれ青年部は
一、地域を支える青年経済人として 先導者たる気概で研鑽に努めよう
一、国際社会の一員であるべき 国際人としての教養を高めよう
一、豊かな郷土を築くために 創意と工夫 勇気と情熱を傾けよう
一、文化を伝承しつつ 新しい文化の創造に向かって歩を進めよう
一、行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ 力を合わせ
　　国の礎となろう

～心震わせる絆～

箕面商工会議所青年部 平成28年度会長

原 武史



箕面商工会議所青年部（以下箕面 YEG）は平成28年度に設立30年の節目を迎えました。これまでの箕面YEGは、箕面商工会議所の一翼を担い、様々な活動に取り組んで参りました。創設以来、志高き熱い想いのある先輩諸兄の方々のお陰があり、確かな歩みを刻みながら今日までの歴史を積み重ねてきました。この長きに渡り箕面YEGへの惜しみない賛同を賜りました箕面商工会議所の各会員の皆様、箕面YEGが行ってきた事業へご参加いただきました市民の皆様、箕面市や関係諸団体の皆様、そして、共に歩んできた全国の青年部メンバーの皆様に深く感謝を申し上げます。

昨今、箕面市では、北大阪急行の延伸が決まり、また東部地域の住宅開発なども行われるなど、今までよりも住みやすい地域へと急速に生まれ変わっています。箕面YEGはこのように激動する箕面市の状況に揺さぶられることなく、青年経済人として箕面市の発展の支えとなり、重責の担い手として活動をしていかなければなりません。そのためにも、私たちの活動から何ができるのか、そして、何に応えられるのか、この急速に発展する地域状況に対応すべく活動の道標が急務となり、改めて考える必要となりました。

平成26年度、箕面YEGは「第32回近畿ブロック大会あふさか箕面大会」を主管地として開催いたしました。大会が盛況に行われた裏側には、箕面YEGの築き上げてきた「歴史」と、志同じくする人々の「絆」が存在し、成功への「道」を創り上げたといえます。また、長年続けてきた「みのお市民ツリー事業」、箕面まつりでの「お化け屋敷事業」等、数多くの活動から得た経験が、現在の箕面YEGを創り上げています。このように私たちは、これからも、箕面YEGと関わりあっていただく皆様への感謝の気持ちを決して忘れることなく、豊かで住みよい郷土づくりに貢献できる活動を率先して行わなければなりません。また、この活動の継続が次世代の歴史を築き上げる青年経済人として自覚させ、各々の企業の発展を促し、交流や連携をきっかけとし、互いに研鑽できる絆を創り出す事となります。

そこで、今後、箕面YEGメンバーが次世代への先導者として、急速に発展する地域経済活性化の波を活用する為に「箕面YEGプログレス」として活動のビジョンを策定いたします。最後に、この策定が、「箕面を愛せる」青年経済人として輝けるために、そして箕面と共に歩む道標が、次の節目である35周年に向けて確実に深い絆を創り、心震わせる地域活性化へと繋がることを願います。

箕面市の未来

人口 ・・・ 人口 136,784 人 (男性 65,515 人・女性 71,269 人) うち外国人 2,550 人 [2017 年現在]

箕面市が力を入れている三つの柱

● 子育てしやすさ日本一

*子どもの医療費助成制度：所得制限なしの0歳～高校卒業まで *全市立幼稚園、小中学校の耐震化。府内初。 *幼稚園の保護者補助金、府内ダントツ。
*中学生の生徒指導専任教員をもうけた。箕面独自。 *小中学校一貫校が二校。府内初。 *子どももステップアップ調査の実施。箕面独自。
*子どもの登下校を見守るシステム。(学校防犯システム)

● 緑・住みやすさ最先端

*北大阪急行の延伸決定 *緑と利便性の共存。(豊かな緑と良好な住環境を守りながら同時に、利便性と安全性を向上させる。)
*船場地域の学校新設 *自転車走行レーンをもうけた。 *市立病院のリニューアル *障害者施設の整備

● 安心・支え合い最優先

*健康と長寿をテーマにスポーツ施設の再生 *屋内温水プールの新設

第5次箕面市総合計画における将来都市像

「ひとが元気 まちが元気 やまが元気 ～みんなでつくる『箕面のあした』～

目指すまちの姿

1. 安全・安心でみんながいきいき暮らすまち
2. 子どもも大人も育つまち
3. 環境共生さきがけのまち
4. 「箕面らしさ」を生かすまち
5. 誰もが公共を担い、みんなでつくるまち

観光や産業の動向

観光においては、従来の「通過・消費型」「飲食・宴会を楽しむ」観光から、近年、「触れ合い型」「滞在型」「地域文化を観る」などの観光へと変化しています。このように人々の趣向の変化により、自然やまちの歴史・文化など、その地域の特性を生かした観光振興などの取組が課題となっています。一方、産業では、地域商業の核である商店街が、近年の経済不況や店主の高齢化などにより、空き店舗の増加や退店など厳しい経営環境に置かれています。このため、地域商業をまちづくりの重要な担い手として位置付け、市民と商業者が協働して地域に貢献することで、地域商業の活性化を目指す取り組みが必要です。

観光・文化の観点からの課題

- * 地域資源の保全と情報、魅力発信の充実
- * 観光地としてのホスピタリティ（もてなし）の充実
- * 観光拠点と商業・集客拠点との連携・回遊性の向上

産業(商業)などの活性化の観点からの課題

- * 地域密着型の商業機能の充実
- * 次世代を担う人材の育成
- * 商店街の求心力向上、生活・交流拠点としての役割の充実
- * 商業活動の面的な連携

これからの箕面の中心となる三地域

阪急電車箕面線沿線に位置する箕面・桜井地区、北大阪急行延伸（平成32年度開業目標）による船場・萱野地区、大阪モノレール彩都線を中心とする小野原・粟生・彩都地区の3つの圏域はそれぞれ違った特性をもった地域であり、それぞれが切磋琢磨し活性化する事で、市域全体の活性化に繋がるものと考えており、更なる飛躍を目指すものとする。

青年部の状況

在籍人数

平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
59名	66名	55名	59名	53名	52名	50名	51名	51名
平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
51名	48名	50名	55名	59名	50名	52名	51名	59名

歴代会長

初代会長	細川宏
第2代会長	北谷和夫
第3代会長	熊木俊明
第4代会長	表西政秀

第5代会長	畠中宗数
第6代会長	藤原敏裕
第7代会長	今井一
第8代会長	神代繁近

第9代会長	後藤義晴
第10代会長	林和利
第11代会長	福田一雄
第12代会長	藤元伸幸

第13代会長	辻明
第14代会長	藤元伸幸
第15代会長	谷泰典
第16代会長	原武史

過去の事業

箕面検定(上級)に挑戦

桜井納涼の夕べに参加

箕面まつりのお化け屋敷の開催

みのお市民ツリーの開催

箕面駅前クリスマスカーニバルの開催

箕面の山を歩こう会の開催

ご当地ナンバープレートの実現

会員サービス優待券「オッ得カード」の作成

近畿ブロック大会あふさか箕面大会の開催

住之江競艇見学

「YEGが変える！地域からの改革への道」樋渡啓祐氏(元武雄市長)講演会

「接客マナー研修」
講師:大仲希実子氏

「経営者のためのセンスアップセミナー」
講師:ベストポジション 服部彩香氏

「広報力で世間に伝える」
講師:OFFICE・TENPACHI 福満宏之氏

「事業継承は、新創業だ。利益2倍の経営戦略」
講師:株式会社マドック 荒山元秀氏

「経営者の想いを伝える」
講師:オフィスジャストアイ 梶川和重氏

「社員の目の色が変わる話し方」
講師:ベストスピーカー 高津和彦氏

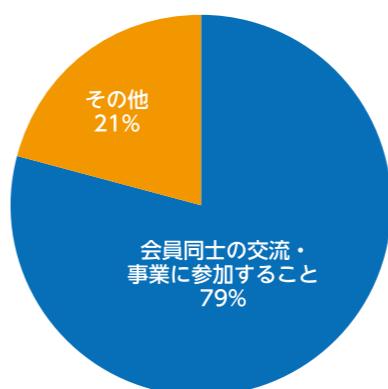
「不況の時代の会社経営・心得」
講師:田中会計事務所 田中啓允氏

「箕面の川床の歴史を知ろう」
講師:株式会社花畠商店 花畠舜一氏

「伝える・伝わる」
講師:朝日放送株式会社 三代澤康司氏

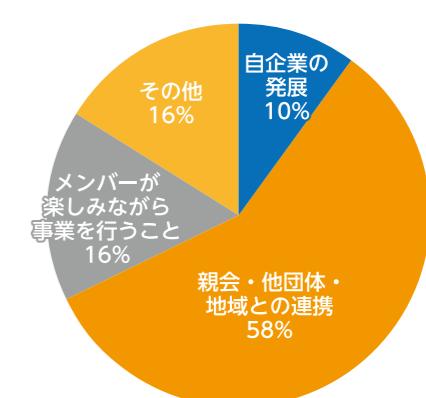
メンバーアンケート結果

青年部活動を通して、自企業の発展を促進するためには、何が必要だと思いますか？



(平成28年度12月定例会 箕面YEG 32名)

青年部活動を通して、地域社会の発展を促進するためには、何が必要だと思いますか？



ビジョン

①スキルアップとスケールメリットの提供

・**会員拡大**
・**会員拡大**
・**会員拡大**

・**会員数60名(平成28年度現在)**

・**会員数30,000名以上(平成28年度現在)**

・**総加入会員数1,100名(平成28年度現在)**

ビジネスチャンスの拡大

ミッションの概要

- 1 個人のスキルアップを目的とした定例会の開催
- 2 新しい仲間作りとメンバー間の情報共有
- 3 日本YEG・大阪府青連YEGを始めとする各青年部とのつながりからさらなるスケールメリットを得る



②地域経済活性化プラン

・**箕面市との事業活動に関する連携強化**

みのお市民ツリー復活事業の推進

箕面市内で積極的に活動されている地域団体が多数あるところ、今までに協働いただいた団体だけでなく、新たに協働いただく団体を増やすことで、より多くの市民の方へ青年部活動を理解していただき、協力を得ることができます。その結果、箕面YEGとしての新しい提案に対して実効性が高まります。また、より多くの商工業の可能性を拓げることも期待されます。

新協働事業の推進

「みのお社会ビジョン2.1」(箕面市発行)には、「公共施設の開放・機材の提供」、「事務局の代行」、「人材の交流」、「相談・コンサルテーション」、「研修機会の提供」、「後援名義の提供(信用保証)」などの促進策を掲げています。箕面YEGのスケールメリットで得られた知識と知恵を活用し、市と連携することで、新箕面中心地域(船場・萱野)の地域経済活性化目的のイベントを行う事が可能になります。

・**箕面まつりへの継続的な参画**

お化け屋敷事業による交流推進

事業の継続性が、参加メンバー間の懇親・交流を育むうえ、さらなる連帯感を抱くことができる。また、新規メンバーへの事業参加のきっかけ作りにも役立ち、商工会議所活動の活性化にもつながると期待できます。

・**箕面商工会議所会員事業所及び地域諸団体との連携**

地域と事業連携を推進するための研鑽

箕面商工会議所内の地域活性化委員会に出向、地元商店会と商店活性化事業への参加を経て、総合的に地域活性の加速を推進を狙う効果が期待されます。

各事業者になる研修事業の開催

日商で掲げる中小企業振興の一環による各種塾への参加を研修事業として取り組むことにより、メンバーのスキル向上と外部参加者との情報交換の機会を提供することができます。また、得ることができたスキルを使用することで、効率的な活動方針を決めるツールとして期待できます。

地域イベントへの連携参画の推進

箕面の瀧道に携わる観光資源等、箕面ならではの特色を活かされたイベント事業への参画を図ることにより、メンバーは、地域経済活性の関係者と連携を図る効果が期待されます。

・**箕面YEGの「ブランド力」の向上に関する事業の展開**

箕面ブランドの創造・育成・発信

「箕面」のブランド化・高付加価値化により、市内新規事業者の増加と、地域住民の「豊かさ」の向上が地域社会のさらなる活性に繋がり、同時に発信団体である箕面YEGの価値を高めることができます。

箕面YEGと会員事業所の取り組みの発信

地域住民・各種市内団体に箕面YEGの活動を知って頂き、協力・協働体制を築くことで箕面YEGの活動を加速させ、各ミッションの効果を増大させることに繋がる。